

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2021

10

題無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	13
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 9月句会	23
川柳吟行会「ぼ」	30
十和田たてがみ川柳会 8月句会報	34
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	12
Infomation	37～

カンテラ

むかし

当柳社が例月句会の会場としていた青森駅前前の複合施設「アウガ」が、新型コロナウイルス感染症拡大のため9月1日から30日まで突如休館となりました。

やむを得ず9月例月句会をステイホーム句会に切り替え、休館が更に延長されることも予測されたので10月も引き続きステイホーム句会としました。

今後どうなっていくかはコロナウイルス次第です。会員の皆様方には対応方よろしくお願ひします。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

あと五年あと五年と生き米寿くる	村上てる
気力体力転がるように落ちて古稀	村上あつこ
花束の替わりに届く請求書	笹田隆志
ホップステップ母の老化が加速する	城後朱美
闇鍋に突っ込んでいる左足	石橋芳山
朝顔の青から貰うゴーサイン	辻井洋子
坐禅より濡れてゆこうか星月夜	葉 閑女
記憶とはなにかが違ふ夏の雲	ひとり静
凜とした女をきどるホッチキス	まきこ
わたくしのところどころに破裂音	芝岡かんもん

かんえもんさん、この句、分かります。私もそうです。「破裂音」があっても壊れなければいいのですが、私の場合あちこち壊れて大変です。どうすればいいのでしょうか。かんえもんさん、対処法を知っていましたら教えてください。ください。

B群

死んだがましと思う日を積んでいく	旅 男
泣いてしまえたらきつと楽たろ	ねえ奥歯
きささぎ彼句吾	熊谷冬鼓
正しさは遠心力で量るべし	須藤しんのすけ
小鼻のふくらみ明日は離婚の日	夏草ふぶき
火曜日が時々酸っぱい味になる	守田啓子
雑踏にピクトグラムが消える秋	斎藤泰子
チヨコレートパキンと割ったよな別れ	土田雅子
クラフトな男と食べる空の青	小野五郎
山頭火に出逢った西瓜食っていた	

C群

小野五郎さん、「山頭火」って、あの自由律俳句の種田山頭火のことですよ。1940年に亡くなっている「山頭火」とどこで出逢ったんでしょう。「西瓜」って酒の肴になるのかな?ところで、五郎さんの不思議な句が始まったのは「山頭火」と出逢ったからですか?

わたくしを茹で上げるなら約2分	奈良一艘
ジャガイモのかたちと老いの互換性	三浦蒼鬼
岸辺から海をはがしてみるつもり	米山明日歌
源氏名のフルーツトマトが御出勤	岩根彰子
青刺りの頭の右が欠けている	宮井いずみ

奈良一艘さんは嶽キミの産地である弘前市の方。嶽キミは青森県弘前市の岩木山麓「嶽高原」で栽培されるとうもろこしで、日本一おいしいと噂されている。嶽キミの茹で方をネット検索すると、沸騰したお湯に入れ再沸

騰してから2〜3分とか、4〜5分とか、10〜12分とか様々。あ、嶽キミは関係ないんだよね（汗）一艘さんを茹でる時間のことでした。2分で茹で上がるって、まさか…。2〜3カ月茹でても硬くて食べられないような気がするんですけど…（笑）

三浦蒼鬼さんは「ジャガイモ」と来ましたか。「メークイン」「男爵」「キタアカリ」「インカのめざめ」などいろいろありますね。カレーに入れるのはこれ、ポテトサラダにするのはあれとよく聞きますが私にはよく分かりません。で、蒼鬼さんは、「ジャガイモのかたち」を気にしている。「ジャガイモ」ってつるんと丸くないものね。ゴツゴツしていて丸い。それを見て、「あ！最近のオレみたい！」なんて思っているのですか…。

米山明日歌さん、あの…この句の「岸边」って、「海」の「岸边」だよな…。「岸边から」の「から」は、「岸边」という場所を指定しているのでしょうか、それとも岸边から沖へ向かってということでしょうか。いずれにして

も、「岸边から海をはがす」って矢鱈難しそう。にしても、随分と変なことを考えますね（笑）

岩根彰子さん、「源氏名」は「水商売で働く女性の、職業上用いる呼び名」って広辞苑にあります。「源氏名のフルーツトマトが」って、「フルーツトマトという源氏名の女性が」とは違うんですよね？「源氏名」が「御出勤」とはしゃれていますね。

宮井いずみさん、「青剃りの頭」っていずみさんがやっているんじゃないですよ。青剃り頭の女性だと厄さんになっちゃう…。私は村の温泉によく行くんですが、最近浴室で頭を剃り上げている若い人が多い。お坊さんかと思いましたが、みんなお坊さんじゃなくて驚きました。でも、「頭の右が欠けている」「青剃り」の人は見たことありません。右の脳、つまり右脳は音楽を聞いたり直感的に何かを決めたりするときに働くんですってね。その人、音楽が苦手でしょうね。ぐずぐずして物事もすぐ決められないでしょうね。何だか私みたいだ…（汗）

おかじょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅9月月間賞

わたくしのベサメムーチヨな紙おむつ

奈良一艘

宮井いずみ【みやいずみ・大阪府大阪市】

青刺りの頭の右が欠けている
与太話からめて蒟蒻けしかける
準急が先に着くのか青海波
いい加減にしてよに続くはしご段
欲望の墓場に気づかないカモメ

先月号のお気に入り
百態の裏も表も摩訶般若　きさらぎ彼句吾
空の思想を身につけたいけど、けど、けど

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

九月に手伸ばすまだまだ産むんだし
砂時計濡れて過去が追って来る
ジグソーの今日のピースを埋めている
出たかった世間は窓の向こう側
「痛みなく」歩けた今日のマイニュース

先月号のお気に入り
新発売！ルビトンから神おむつ　奈良一艘
このおむつ私の年金で買えますか？

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

雑踏にピクトグラムが消える秋
向日葵が駆け寄ってくる飴配り
手指消毒マスク着用桃を置く
アクリル板の向こうの向こう蕪の花
蔓延か逼迫かやぎ座流星群

先月号のお気に入り
ワクチンも打ったし納豆飯ラララ　奈良一艘
「納豆飯」に幸せのツボをくすぐられました。うまいなあ。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

ボタンひとつすべてが消えるデジタル写真
タイムトラベラーのポケットにモノクロ写真
君と僕かけ間違える合成写真
人間の業まで写る心象写真
季節ごとお化粧変える風景写真

先月号のお気に入り
晩ごはん食べたし月も刻んだし　土田雅子
今日も一日無事に過ごせたことに、感謝！

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

パラパラと剥がれ落ちてく脳細胞
気力体力転がるように落ちて古稀
胃袋に詰め込んでいる無理無体
付度で小さな嘘をついている
悲しみを全部まとめて卵とじ

先月号のお気に入り
見渡せば燃えないゴミもたんとある　熊谷冬鼓
燃えない、燃やせないゴミが私の周りにもたくさんあります。どうすれば良いのでしょうか・・・

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

車線変更あと五年の距離はとる
決めてある行先まではあと五年
あと五年あと五年と生き米寿くる
眼がモヤモヤ字もモヤモヤで老いを知る
老いてなおときめく事がたまにある

先月号のお気に入り
反省は月に向かってこつそりと　辻井洋子
お気に入りの句は同感句です。私も同じです。

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

海抜ゼロおや、花火師が駆けってくる
揚羽舞う併殺崩れという波紋
昼の月梁塵秘抄そらんじる
鬼らしく面をあげよ鬼灯よ
坐禅より濡れてゆこうか星月夜

先月号のお気に入り

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

明日は明日持駒全部使い切る
ご縁の輪ぐるぐる私の番ばかり
地を蹴ってドダレバチなど踊らんか
デデッポウポウ一日鳴いてみたけれど
そのうちにムーミン谷になる茶の間

先月号のお気に入り
にんじんごぼうだいこんはんにゃはらみった　むさし
さあご一緒に。幸せになりましょう。

吉田吹喜

【よしだふぶき・青森県弘前市】

緩やかに流れる時のせいよ もう
ふつくと心穏やかにはなれず
糖質ゼロ 五体全てが垂れ下がる
熱帯夜 月はスイカの皮よ ポイ
ピフォアフター九尾の狐から タヌキ

先月号の
お気に入り

目を閉じて魔法使いになっている
あ、ほんとだ。私にも できたかも。

葉閑女

吉見恵子

【よしみけいこ・青森県青森市】

アスパラの藁の早さよ靴を履く
雨降つてメダルラッシュの大団円
コーヒーの匙の波紋が深部まで
宥めても濃くなつてゆく指の先
灯は淡し帰れと言えぬ盆祭

先月号の
お気に入り

米山明日歌

【よねやまあすか・静岡県長泉町】

桃の実のそこにも夜がきていたり
後悔の前も後ろも竹の中
壺の蜜ゆるみはじめる月の夜
岸辺から海をはがしてみるつもり
濡れたものから声をかけられている

先月号の
お気に入り

言いたいこと半分は雨になり
こなわたしても時々あります。わかります。

柳本恵子

渡邊こあき

【わたなべこあき・青森県青森市】

墓参り草をとつては零す愚痴
冷たくも熱くもなれぬ七分袖
苛立ちを注ぐビールに泡がない
平穏になるとでてくる鬼がいる
カサブランカ寺の座布団イスになる

先月号の
お気に入り

晩ごはん食べたし月も刻んだし
あとは寝るしかない！

土田雅子

安藤なみ

【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

里山に雲這い炎暑冬景色
水色のワルツ蒸発する涙
初対面の蜂と飲み合う岩清水
サンダルの水虫口を開けたまま
睡蓮の鉢に張り付く古物商

先月号の
お気に入り

線香花火弾け具合がいじらしい
いじらしい、素敵な言葉。

辻井洋子

石橋芳山

【いしばしほうざん・島根県松江市】

シューマイワンタン餃子の三国志
闇鍋に突っ込んでいる左足
悪態に醜態いまでも白いベロ
手探りで選んだ夜を抱いている
息継ぎの場所を選んでさ迷えり

先月号の
お気に入り

岩根彰子

【いわねあきこ・京都府京都市】

源氏名のフルツトマトが御出勤
バーゲンの親子バック私を羽交締め
夢座る頭に生えた柿の実に
八咫烏檜皮で造るコッテージ
蝉時雨南部風鈴ロックだけ

先月号の
お気に入り

小野五郎

【おのごろう・青森県青森市】

山頭火に出逢つた西瓜食つていた
朝顔がスカイツリーをかけるがる
トリカブト青紫までは赦される
骨粗鬆乳白色の草いきれ
口角にタラコソースが付く残暑

先月号の
お気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

泣いてしまえたらぎつと楽だろ ねえ奥歯
消化し切れないレンコンの穴胸の穴
この世にしがみつく握力があなた
足裏見せあつけらかんと梅雨明ける
草臥れました独りぼつちに お月様

先月号のお気に入り
今週の卵は全部音がする
ラ音たてる卵お譲りください
安藤なみ

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

正しさは遠心力で量るべし
紋白蝶飛び交うオミナエシの最期
鶏頭の赤に雷注意報
大銀杏の昔語りは波の音
クローバの答え探しは雨の中

先月号のお気に入り
やってみる絹ごし豆腐的口調
どんな口調なのか想像すると愉快。
辻井洋子

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

オギャーと泣いたその次はため息だった
ジュツジュツジュー本日を美味そうに焼く
わたくしのところどころに破裂音
さよならに膨れ上がった突起物
あの人のずるそうな蠅つかまえた

先月号のお気に入り
輪郭がぼやけてとてもイイおんな
いいですね。皆んない女になっていく。お嬢さんお茶
でもいかがですか。
吉田吹喜

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

無職だというのに忙しい朝だ
やることがたくさんあって元気です
ホップステップ母の老化が加速する
受け入れたくはない母の紙おむつ
シナリオは楽しく介護ららららら

先月号のお気に入り
懐メロに惹かれて今日も深夜便
しみじみと、福山雅治のラジオ、深夜便を聞いています
上村夢香

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

世の習いご機嫌とりに行く日傘
真夏日の邪心をどこへ隠そうか
何事も無いはずは無四世代
寝そびれてまたそのことを思うとは
チョコレートパキンと割ったよな別れ

先月号のお気に入り
一年中光って眠る燃料棒
あらためて怖さが甦りました。
笹田隆志

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

立秋の納品書を貼り店仕舞い
花束の替わりに届く請求書
雨に色なし老眼を刺す朝日
未熟さを左旋回させる耳
雨あがり燃料棒が騒ぎ出す

先月号のお気に入り

S i n【しん・青森県外ヶ浜町】

専門家は今日も専門家
心中の事故物件を知りませんか
老いのせいかな 賢者タイムのせいかな
ソラシドの飛沫で虹を誘き出す
群衆を経て あなたを経て

先月号のお気に入り

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

小鼻のふくらみ明日は離婚の日
● RECした夕日会いたい人がある
あなたの言葉、麻葉です
裸にエプロン反抗期が終わる
<http://www.atama.kiande/kyou-singoto/yasumi/masu.go.jp>

先月号のお気に入り
本日も普通の目覚めヨーグルト
退屈な毎日。刺激少なめルーティンヨーグルト。しあわせってこういうことかあ。
まみどり

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

ピーマンが叫ぶムンクになりそうで
スルーして構わぬ「E」カップの嵐
騙し絵の蜜が甘くて金縛り
夜討ち朝駈け残っていたのは疲労
やさしく包む虹色のバスタオル

先月号のお気に入り
諦めてください麺が伸びちゃうよ 夏草ふぶき
「諦めること＝悪いこと」と捉えられがちですが、諦めることは決して悪いことではありません。その諦めも必要かも。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

ノックする土石流だけ出ておいで
再生砕石を敷きブラジル農園へ
実績はないがパンの耳ならある
初っぱなは猿の腰掛け出来てから
一回の表からあいすこーひー

先月号のお気に入り

旅男【たびお・青森県五所川原市】

迎え火も帰らない人あんなって
おしめからおしめ白無垢お終えだ
死んだがましと思おう日を積んでいく
積んだ苦でふわり昇天する寝顔
送り火が待てないあんたほら行きな

先月号のお気に入り
オンキヤリソワカペタンと座る敬老バス 岩根彰子
ペタン いろいろな意味が集約されていて面白い。

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

湧き水がポコ 耳を貸し虹を編む
鳶沼が笑ってくれた ただ ただ
泥水があちらこちらに塩塩です
とうとうがやって来た初心に帰ろうか
ドクターハート次元が五右衛門がルパンが

先月号のお気に入り
脳内にこじやれたバーが出来上がる 吉田吹喜
いい感じ A.A 今度ご一緒 A.A

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

絞り切るヘチマの穴の曇り空
能天気結構波をかぶります
夏バテにモネの睡蓮咀嚼する
朝顔の青から貫うゴーサイン
身の内がみなぎってくるバイク音

先月号のお気に入り
堪忍袋の緒を繕って月あかり 吉見恵子
月あかりが見えて良かったです。

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

やり直すとしたら二十歳の道玄坂
聖橋辺りで止まっている時間
しこうして紋切り型の恋である
クラフトな男と食べる空の青
三秋が落ちてる神田古木屋

先月号のお気に入り
居てくれただけで良かった昼の月 熊谷冬鼓
そんな姑の新盆でした。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

新盆で波浪警報発令中
早すぎるお別れでした離岸流
夏日からフオアフト走法で抜ける
火曜日時々酸っぱい味になる
冷奴よりも優しくささやいて

先月号のお気に入り
いっぱしの薔薇にはなったそれっきり 吉田州花
いっぱしの薔薇になっただけでも満足ですが。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

ウッセーわッ 好評だとか不評とか
ゲンコツは砂漠へ振って置いてござる
わたくしを茹で上げるなら約2分
ムーミンの臍はぜったい秋の季語
ぬれせんべいーころなーしらぎくーOops!

先月号のお気に入り

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

みつともないことはするなと虚言癖
根も葉もないこと積極的に論じあう
ひいふうみいよいつむうと間違える
どえらいことをするために靴を脱ぐ
わだかまりのない靴を履き遠出する

先月号のお気に入り

黄昏のビギンとしては許せる範囲 奈良一艘
リズム感に乗せられて。

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

待っている指と待つてはいない指
顔半分無法地帯となるマスク
記憶とはなにかが違う夏の雲
夏期講座王の目玉の耳の午後
西瓜にも地球にも塩振ってみて

先月号のお気に入り

雨天なら雨天のように息をする 斉藤泰子
もうどれだけ降ったやう・・・晴天の息を忘れそう。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

自粛してきますタマゴの特売日
のっぺらぼうの棒読みを聞いて秋
自覚症状なくても近くなる ひとり
ジャガイモのかたちと老いの互換性
蒼すぎる空で永代供養する

先月号のお気に入り

むさし【むさし・青森県蓬田村】

尻尾の先で微かに光る無人駅
ハシビロコウに言い訳してるカメレオン
脇腹を下り列車が通ります
指先が花の吐息を聞きに行く
海を見ているアメカンムリの蛇遣い

まきこ【まきこ・青森県青森市】

不要不急それはわたしのことですか
背骨ヒクヒクここは我慢と声にする
荷をほどく後はあなたに任せます
不確かな記憶天国らしきところ
凜とした女をきどるホツチキス

先月号のお気に入り

晩ごはん食べたし月も刻んだし 土田雅子
おいおいといいたくなりますね。さすが雅子様 (笑)

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

腹割って話すことでもないのだが
素通りは出来ない平仮名のまの辺り
まったくの無症状ですトコロテン
つまらないことに目くらまら立てながら
物欲もないのにカタログを開く

先月号のお気に入り

じつくりと聞いてくれると言ったのに まきこ
あ、忘れてた。で、何の話だっけ？うん、ごめん今日は
ちよっと・・・

『アウガ川柳教室』のお知らせ

【場所】青森駅前「アウガ」5階

【日時】毎月2回 第2・4火曜日13時～14時半

【講師】おかじょうき川柳社 代表 むさし

【受講料】1回 500円

□ 10/12 (火) 「凄い」 □ 10/26 (火) 「金魚」 □ 11/9 (火) 「太る」

□ 11/23 (火) 「隣」 □ 12/14 (火) 「深い」 □ 12/28 (火) 「後ろ」

●投句先：〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-3
むさし宛 / TEL.0174-27-2008 / E-mail: hmusashi@r66.7-dj.com

深艘心理

抽斗に「べし」詰めすぎて開かない

四ツ屋いずみ

(会員雑誌集無人駅8月号より)

「べし」とは古文の助動詞、6種類程の文法的な意味があるらしいが、概ね「くをするべき」とか「くをしなればならない」の意味で使われる事が多いという。

作者は毎日の暮らしの中で、例えば掃除、洗濯や調理、整理整頓などの日常生活、更にその他諸々のやらなければならぬ事などを「明日出来ることは明日やる」的精神で優先順位をつけながらどんどん心の中の抽斗に溜め込みすぎてやがては開けない程になってしまったことを嘆いている句なのだろうと、掲句を捉えていた。

しかし、わざわざ「べし」とカッコ書きにしてある事に何かひっかかるものがありYahooで検索してみた。結果、見事発見!

「べし」は赤塚不二夫の漫画に出てくるキャラクター。「夜

は寝るべし」のセリフで有名。とあった。ふむ。ということは、作者はやらなければならぬ事を抽斗に詰めたのではなく、「夜は寝るべし」を抽斗に詰めたのではない。つまり、作者は不眠症……だったのだ。

何が原因で不眠症になったのかは知る術もないが、眠らなければ……眠らなければと意識するあまりつい色々なことを考え過ぎてしまい、ウトウトはするもののすぐに寝覚めてしまいの繰り返しで朝を迎える事になってしまっただろう。直ちに主治医の元へ行き睡眠導入剤などを処方してもらう事をお勧めする。

句は作者の手を離れた瞬間から読み手の妄想に委ねる事になるのだ。チャンチャン。

題名の無い絵だ



▼投句者 (33名・到着順)

むさし・吉松澄子・斎藤泰子・旅男・石橋芳山・宮井いずみ・岩根彰子・芝岡かんえもん・城後朱美・安藤なみ・柳本恵子・米山明日歌・村上あつこ・笹田隆志・吉田吹喜・岸井ふさゑ・上村夢香・夏草ふぶき・奈良一艘・土田雅子・郷田みや・須藤しんのすけ・まみどり・田中薫・三浦蒼鬼・葉閑女・まきこ・鳴海賢治・きさらぎ彼句吾・坂本清乃・村井規子・守田啓子・熊谷冬鼓

おかしょうき川柳社

9月ステイホーム句会

宿題『火』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

存在のさみしき火曜日狐
 火のような恋がしたくて生きている
 火打石今日も誰かを焚きつける
 遺伝子に隠れてますよ鉄火場が
 あやまちはなかつた火葬場のけむり
 行先は胸に火を持つ人に聞け
 火を抱いて静かに眠る沼の底
 火遊びが好きで時々吹雪いでる
 火を吐いて吐いていつまで火焰土器
 燃えかすになつたあばら骨が痛い
 かがり火に憧れている まだ毛虫
 ペン先からじゅわり染み出てくる炎
 点滴のなかで蛍火がゆらり
 燃え尽き症候群のバナナの黒い斑点
 向日葵の匂い嗅いでる火宅僧
 火のような言葉ください私にも

吉松澄子
 城後朱美
 村上あつこ
 芝岡かんえもん
 吉松澄子
 岸井ふさゑ
 石橋芳山
 夏草ふぶき
 宮井いずみ
 夏草ふぶき
 吉田吹喜
 吉田吹喜
 奈良一艘
 奈良一艘
 守田啓子
 柳本恵子

火花ひとつ木箱に入れておきました
 火が消えてのつぺらぼうな夏が行く
 おや火の粉あらわたくしが燃えている
 いただいた火の粉に嫉妬してしまう
 まみどり
 まみどり

【五客】

火消し壺の中で騒いでいる腫
 背を向けたあれも優しさ遠花火
 彼岸花燻られながら傾きながら
 焚き火終わる始発電車はまだ来ない
 さよならの口火を切つた雨の音
 まきこ
 米山明日歌

【人位】

火を吐いてみせようここに座りなさい
 まきこ

【地位】

幸せなんだね ケーキを焼いている
 吉田吹喜

【天位】

覗いてはならぬ女の噴火口
 米山明日歌

この女性、以前から体のどこかに噴火口を持っていたのだろうか。それとも、今突然マグマが皮膚を破って噴き出したのか。いずれにしても、女性は活火山そのものであるから安易に噴火口を覗いてはならない。特に男は覗いてはいけない。一瞬にして破壊されてしまうことがある。でもなあ、男は奇妙なもの、危険なもの、美しいものに近づきたがる習性を持った生き物だからなあ。

宿題『拾う』

青森県弘前市 きざらぎ彼句吾選

【佳作】

恥ずかしい拾得物をどうしましょう
 貝数個拾って終わる 夏も恋も
 捨てた愛と拾った愛を比べてる
 モモ缶の中から夏を拾い出す
 御仏に拾われるまで藁でした
 ポジティブな活字拾って書く手紙
 拾った拾ったひしゃげた鍋と男はん
 月光をひろいそこねて尼寺へ
 また今日も拾っちゃったわ秋の色
 溜息を拾ってくれたのは天使
 音拾う半音ズレた脳ミソで
 困ります放置自転車のおくび
 ついに落ち葉となった 誰か拾って
 ぢいさんを拾ってきてはいけません
 ラジオから拾う綾取りめく時間
 おわら節風を拾って逝きました

吉松澄子
 斎藤泰子
 村上あつこ
 石橋芳山
 村井規子
 三浦蒼鬼
 岩根彰子
 奈良一艘
 芝岡かんえもん
 吉田吹喜
 石橋芳山
 夏草ふぶき
 吉田吹喜
 奈良一艘
 宮井いずみ
 岸井ふさゑ

和音だけ拾うマイクを買いにゆく
 吉松澄子

二の腕ひらひら黄昏を拾う
 まみどり

捨てた猫を拾っていった捨てた猫
 岸井ふさゑ

河童池であくびをしたら拾うんよ
 宮井いずみ

【五客】

捨ててきた羽根を拾いに東京へ
 米山明日歌

銀杏の空へ拾得物の難破船
 岩根彰子

オレの顔拾ったやつは名を名乗れ
 むさし

みを拾って拾って拾ってかあさんだ
 守田啓子

拾い読みしたただけなのに開くドア
 郷田みや

【人位】

3秒ルールで私を食べなさい
 奈良一艘

【地位】

溺れ死ぬ寸前だった水の恋
 旅男

【天位】

一刷けの雲 宇治拾遺物語
 守田啓子

すう〜つと一刷けで描かれた静かにたなびく雲、物語の全てをその雲ひとつで語り尽くしているのだ。

宿題『自由詠』

青森県弘前市 奈良一艘選

【佳作】

何もかも嫌になる日が来てしまふ
 首振って答えを探す扇風機
 ひまわりの罵声を浴びて秋に入る
 生年月日聞かれ吃音になる
 苛立っているのはきつと蔓のせい
 秋一色ボクの椅子だけ濡れている
 投げられたゴムゾウリだな昼下がりに
 モナリザにもう微笑みはありません
 言い出しつぺはきつと茗荷の花だろう
 嘯いてみても真つ赤な唐辛子
 起立 礼 あとはしばらくほつといて
 電柱使用料程度の品格で
 トーストミルクオムレツそして離縁状
 別世界だと思つてた赤の現在（いま）
 わたくしのなかにすんでるがらんどろ
 画面数の少ない人と同居する

城後朱美
 郷田みや
 土田雅子
 鳴海賢治
 熊谷冬鼓
 笹田隆志
 旅 男
 芝岡かんえもん
 熊谷冬鼓
 吉松澄子
 まみどり
 守田啓子
 まきこ
 田中薫
 芝岡かんえもん
 まみどり

抜け殻が5センチ先を走つてる
 乱波形焼餅焼型心電図
 秘密やでとホツチキスでとめられる
 からつぽの日は王道オムライス
 宮井いずみ

【五客】

そういえばアツそういえばそういえば
 心地よい嘘がAmazonから届く
 過干渉ですぬニンニク注射ですぬ
 言う指も指だからすぐ数えだす
 ジブンを突きつけられそうで未開封
 きさらぎ彼句吾

【人位】

触ったらだめよ琴線なんだもの
 土田雅子

【地位】

半身は水の重さのまま
 米山明日歌

【天位】

題名のない絵だ俺のハラワタだ
 むさし

天位・ハラワタは自身の生き様。敢えてカタカナ表記にしているのはやや自虐的にうそぶいているのだ。更にそれを無題だと言いつける潔さが何故か切なく愛おしい。地位・人間の体の水分量は成人で約60、65%。老人になるとそれが50、55%に萎むのだという。掲句は今まさに老人真只中であり、その老人期を食っているのだろう。人位、人それぞれに琴線の尺度は違うがそこに触れるなどは…逆説的な言い回しが楽しい。

― 参加者募集 ―

川柳吟行会「ぽ」

課題『寺』

諸事情で吟行には参加できなかったものの、メールでの投句になり合評会へも行ける時は参加するようになった。

今回は7名で56句の一人吟行「寺」についての意見交換。それぞれが寺と自分の距離感で詠む句の違いが面白かった。話は寺から昔の町なかの様子まで広がり、ワクチン接種は進んでいるものの、なかなか治まらないコロナ禍の今、ひと時の心のオアシスのような時間を味わえた。（ふんぶき）

【9点 特×3・佳×3】

仁王門から真つすぐに朱夏の空 宮井いずみ

【吉見恵子】「どちらかと言うと写生の句ですが、「朱夏」

の言葉選びが上手い。仁王門に控える、めらめらと燃えるような金剛力士の厳しさと、同じく燃えるような夏空が響き合っている。この句の「仁王門」から「朱夏の空」までの途切れない緊張感が良い。【さち】女性蔑視の続くこのごろ、きつぱりと目を上げて燃えるような夏の空へ向かって進む女性を彷彿させて、背筋が伸びる思い。【冬鼓】居住地や年齢でお寺との距離感が違う。この句に吟行の臨場感を強く感じた。吹っ切れて前向きに変わった様子が見える。【旅男】仁王門に入るか出るか意味が違ってくるね。出る方でとりました。【柳本恵子】夏の爽やかな青空につづく石畳の道が浮かびました。爽やかです。【啓子】仁王門とギラギラと太陽が輝く朱夏の空の取り合わせが絶妙。

【7点】特×2・佳×3

法要の読経にからむアブラゼミ 滋野さち

【紫の園】読経にアブラゼミの鳴き声が程よく合って、その賑やかさが読経のリズムをとっているような気がする句。【朱美】この夏のセミの鳴き声が、元気がないように聞こえます。負けるなアブラゼミ！【柳本恵子】お堂にはお経の声と蟬の声。その空間は宇宙かも。【こあき】じいじいと鳴くアブラゼミと読経の声が重なって聞こえた。【ふぶき】邪魔が入らないはずの読経、そこに絡むという言葉がもつ意味が深いなと思った。

【6点】特×2・佳×2

寺山修司の本を出てくる赤とんぼ 吉見恵子

【彰子】題詠「寺」で無難な且つ美しい表現、立ち止まる作品は多々あったが、固有名詞の寺山修司、又、本から赤とんぼ、寺山修司の朴訥な声と立ち振舞が立ち上がってきた。【規子】この句を一読して、瞬間に寺山作詞の歌「浜昼顔」が浮かんだ。本を出たとんぼは寺山の化身に思えてならない。【旅男】名前の寺よりも、赤とんぼに寺の鐘を聞きました。【文音】寺の題なので寺山かと思ったが、寺の本堂に置いた修司の本を思わせた。住職もファンなのだろうか。

的ですね。【隆志】いまは亡き父と母を海を見て思い出しながら、海辺にある菩提寺に参るとい情景がみごとに詠われています。【文音】言葉で説明できない「までの海その先に寺」に心ひかれました。

【5点】特×1・佳×3

住職がいいねボタンを所望する 夏草ぶぶき

【洋】人を食ったような、ぬけぬけとした表現が面白いです。【吉見恵子】コロナ禍により、読経などをライブ配信している今どきの寺事情を良く表現している。ある意味風刺も効いているようである。【冬鼓】お寺離れの進む昨今、お寺の形態の変貌をうまく表現。【隆志】インターネット世代の住職の姿をうまく表現しています。

【4点】特×1・佳×2

どの道も寺へへつひく白樺 吉見恵子

【こあき】どんな道（人生）を通っても行きつくところは一緒。白樺が清涼でいい。【彰子】既視感はあるが美しく、ひたひたと死を感じた。【さち】納得し、好きな句だが既視感があり特選に出来なかった。

古寺巡礼喋ったらん脱いだらん 岩根彰子

【かなえ】関西弁の語調が面白い。「古寺巡礼」に何で？と思わせるところも妙味。ユーモラスなんだけど、幽玄な山門の前で襟を正す姿が浮かび上り、神妙な心持にさせられた。【五郎】何を脱ぐのがだめなのか。立ち止まらせる作り方。【朱美】脱いだらんあかん、ぐつと惹かれました。【啓子】「あかん」のリフレインが心地よい。着地もいろんなことを想像して楽しい。

【5点】特×2・佳×1

住職の代替わりして水を撒く 福田文音

【いずみ】水を撒くなど継承した寺を丁寧を守ろうとする新任職の姿が「寺」のイメージにぴったりだ。【ぶぶき】水を撒くという行為が代替わりしたことの意味を大きく膨らませる句でした。【五郎】日常の中に何か不穏なものを感じさせる。

父と母までの海その先に寺 守田啓子

【旅男】咀嚼しきれないから引つかかる。父母の海に泳いで、父母亡きあととは死、ということでしょうか。哲学

【3点】特×1・佳×1

てんてまり縁切り寺は坂の下 吉田州花

【柳本恵子】意思のある赤いてまりが転がっていくその先には縁切り寺なぜか切ない思いです。いま縁を切りたのは、コロナウイルス、線状降水帯、です。【朱美】縁切り寺までの長い坂道、気が変わるかも？

墓守りの手ほどき受けにお寺まで 吉田州花

【文音】世代交代の年齢になっている。檀家のこと、墓地のこと、親に聞けなかった数多。手ほどきを受け伝えよう。【さち】墓や寺とは無縁で生きてきたから手ほどきの必要性を痛感。

姉だけが知ってる話寺詣り 守田啓子

【州花】同じ親に育てられながら幼い記憶はかなり違う。半世紀以上の月日が経ってから妹が突然謝ったりする。【洋】親戚一同で墓参りに行って、帰りに食事している感じ。

【3点】佳×3

菩提寺に若き僧侶の安堵感

渡邊こあき

【彰子】若き僧侶に寺も檀家もやれやれだろう。【規子】これは実に望ましい。我が家の菩提寺も住職が癌だが、息子は継がない。【ふぶき】若い僧侶に託すのは不安なはずが、寺の存続に重きを置かれているのが面白いと思っただ。

永平寺の年季が明けたオジロワシ

笹田隆志

【かなえ】永平寺の僧侶とオジロワシの取り合わせがいい。どちらも孤高な姿が気高い。【こあき】オジロワシは修行を終えた若い僧侶でしょうか。年季でいいのか。【冬鼓】オジロワシの比喩に堂々と自信に満ちた様子がかがえる。

【2点】特×1

マイナーな寺でOKしてしまっ

岩根彰子

【啓子】何をOKするのか。入壇、離壇、それとも全くちがうこと、言わないところがこの句を面白くしている。

【2点】佳×2

仁王様にちゃんとウインクして通る

小野五郎

【いずみ】仁王にウインクだなんてだから今時の子は。【州花】仁王様にウインク。阿修羅像には？

精霊会我に出家の兆しなし

小野五郎

【洋】私も兆しがないと共感しました。【吉見恵子】「精霊会」に参加できても、「出家」というこの一線はなかなか越えられませんね。現代人を良く表している。

【1点】佳×1

ご先祖に叱られにゆく墓参り

村井規子

棧橋から菩提寺の屋根遠ざかる

守田啓子

勧修寺すつてんあつからかん

岩根彰子

ジャージでも別に平気な吉祥寺

折戸 洋

三十三間堂を貫く 行け！

笹田かなえ

好きだった円舞曲でおくるお葬式

夏草ふぶき

寺の賑わい下駄箱だけが知っている

熊谷冬鼓

方舟が定員オーバーしてる寺

夏草ふぶき

十和田たてがみ川柳会八月句会

【参加者】漆館ミノリ・木村奈生美・久保あざみ・佐藤まさあき・瀧尻善英・中村英三・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・斉藤蛙井・城後朱美

■席題 『話題』

久保あざみ 選

【平抜き】

二階さん黙食の話題なんですか

福田 芳記

付度しペットの話題今は避け

漆館ミノリ

触れられぬ話題はずみでついポロリ

高田 幸柳

枯木咲く話の種を探してる

村上 昌子

どの場でも話題になってこまる人

中村 英三

久しぶり話題になって有頂天

中村 英三

飽きさせぬ話題提供変異株

福田 芳記

挨拶は感染者数からはじめ

瀧尻 善英

■席題 『話題』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

お隣の猫が産んだと長電話

佐藤まさあき

どの場でも話題になってこまる人

中村 英三

あのお方話題ほうふで笑顔にし

漆館ミノリ

付度しペットの話題今は避け

漆館ミノリ

悪口を言いふらす人居て困る

木村奈生美

あれこれと話題尽きないクラス会

佐藤まさあき

オフレコのはずが翌朝一面に

高田 幸柳

健康に尽きず恋バナ有るもよし

村上 昌子

井戸端の主婦の力説今ネット

村上 昌子

【秀逸】

オフレコのはずが翌朝一面に

高田 幸柳

ご近所の視線感じる収集所

高田 幸柳

【特選】

失敗の話題あげれば場が和む

瀧尻 善英

話題から貰う楽しさ持ち帰る
ご近所の視線感じる収集所

木村奈生美
高田 幸柳

【秀逸】
飽きさせぬ話題提供変異株
青春の話題を綴る恋日記

福田 芳記
木村奈生美

【特選】
触れられぬ話題はずみでついポロリ

高田 幸柳

■宿題 『わくわく』

高田 幸柳 選

【平抜き】

ピクニック背中でおにぎりが躍る
近頃はわくわくよりもどきどきで
ラブレターわくわく感に羽をつけ
主婦の座を抜けてわくわく食事会
宝くじ今度こそはと神棚へ
ヒーローが出てきて孫が手を叩く
わくわくは庭の畑の夏野菜

村上 昌子
漆館ミノリ
斎藤 蛙井
木村奈生美
中村 英三
佐藤まさあき
久保あざみ

ワクチン済みちよつと遠出と靴揃え
練習機わくわく描く和の五輪
わくわくと無限に秘める二刀流
オリンピックわくわく出来ぬ何か変
明日着る服が決らぬ初デート
吉報を郵便受けが今日も待つ
ランドセル親の期待も欲も詰め

中村 英三
磯島 雅男
磯島 雅男
漆館ミノリ
城後 朱美
瀧尻 善英
木村奈生美

【秀逸】

クラス会初恋のヒト来るという
カレンダー新車来る日に印つけ

瀧尻 善英
中村 英三

【特選】

年金日待ちわびている空財布

瀧尻 善英

■宿題 『輪』

木村奈生美 選

【平抜き】

聞こえずに微笑んでみる話の輪
父自慢タバコの煙輪となつて

村上 昌子
中村 英三

■互選 『ワイドショー』

- ① 現実を逃避して見るワイドショー 木村奈生美
- ② ワイドショーちよつとお休みしませんか 斎藤 蛙井
- ② コロナ禍にワイドショーで知る世間 漆館ミノリ
- ② 加害者へ人権ばかりのワイドショー 瀧尻 善英
- ② あの人もコロナの渦で亡くなった 久保あざみ
- ③ 井戸端が減ってテレビとティータイム 村上 昌子
- ③ 家事終えて昼寝済ませてワイドショー 高田 幸柳
- ③ 寝転んで女房ソファでワイドショー 佐藤まさあき

【十和田たてがみ川柳会10月例会案内】

【時】10月16日(土) 午前10時から 【所】十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『イケメン』村上昌子
選／『意欲』佐藤まさあき選 【互選】(一句詠)『勢い』
当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入) 【席題】一題
(二句詠・共撰)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一
名 【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-1
21 十和田労働福祉会館 高田幸柳あて

【特選】
百歳を祝い輝く笑顔の輪

瀧尻 善英

【秀逸】
貧しくも父母の輪の中温かい
大丈夫胡瓜の輪切りならできる

斎藤 蛙井
城後 朱美

息災を祈り茅の輪をくぐる夏
往く夏を惜しみ輪になる盆踊り
輪の中は粋で愉快で温かい

佐藤まさあき
瀧尻 善英

同窓生昔に帰りケンケンパ
じわじわと車輪も沈み出す猛暑
永遠にかごめかごめの鬼のまま

磯島 雅男
高田 幸柳

いつの間に補助輪とれて乗ってる子
輪の中の電車ごつこのままの友
台風の影響もコンパス描く注意

福田 芳記
磯島 雅男

趣味の輪を広げすぎたかつかれぎみ
知恵の輪に挑んだものはまだ解けぬ
円陣を組んで奇跡を神頼み

中村 英三
福田 芳記
高田 幸柳

■会費拝受【8月受付分】

渡邊こあき（青森市）/ 河野潤々（北海道）/ 木村奈生美（十和田市）

■おかじょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆10月から全国的に緊急事態宣言とまん延防止措置が全面解除となった。緊急事態宣言からの格下げもなく、全面解除となったのには、菅総理の「絶つ鳥跡を濁さず」感があって、もう清々しさまで感じる（笑）菅総理は、長期的な国家観は見えなかったが、現状の目詰まりをピンポイントで強引にこじ開ける姿勢は、とても好印象だった。もっと評価されていい総理だったと思う◆そんなこんなで、全国的な第5波も終息が見えて、青森県も10月から公共施設も再開される。もともと、青森市は時短制限や酒類の提供禁止はされていないにも関わらず、繁華街に入出はなかった。予想でしかないが、地方はコロナ自体の病氣的な怖さではなく、コロナ感染者差別がひどく、村八分ではないが、家族みんなが周囲に指差

されるようなことにはなりたくないというのが自粛の正直な理由だと思う◆このコロナ差別報道でいつも思い出すことがある。おかじょうき川柳社と青森市内にある国立療養所松丘保養園にあった北柳吟社との交流句会である。この松丘保養園は、ハンセン病隔離政策によって1909年に建てられた療養所である。本当に恥ずかしい話だが、初参加時の懇親会でコップを出された時、感染しないという知識があるにも関わらず、口をつけるのが相当怖かった記憶がある。それを昔、父に話したら、父が杉野十佐一さん（草兵さんの父）と交流句会に行ったとき、全然気にならないと言っていた十佐一さんが袖から自前のワンカップを出してた、と笑って話していた。結局、人ってそんなもんだ（笑）◆Sin

□2021.10.31 第37回すずむし全国誌上川柳大会

【課題】『気』（2句詠で1口）（字結び・読込可）【選者】（15名共選）岡崎守（北海道）・千島鉄男（青森）・熊谷岳朗（岩手）・伊東マコ（山形）・鎌田京子（宮城）・浅利猪一郎（秋田）・横村華乱（福島）・刑部仙太（栃木）・島田駱舟（千葉）・安藤紀楽（東京）・荒川八州雄（愛知）・小島蘭幸（広島）・高畑俊正（愛媛）・平田朝子（熊本）・渡辺松風（秋田）【投句料】1,000円で一口（郵便為替又は現金）（何口でも可）*参加者全員に参加賞進呈【投句用紙】所定用紙、便箋用紙、原稿用紙。作品・住所・氏名（雅号）・本名・郵便番号・電話番号明記【賞】大賞1名・入賞句入りブロンズ像・すずむし誌6か月分・あきたこまち20キロ/準賞2名・入賞句入りブロンズ像・すずむし誌6か月分・あきたこまち10キロ/4位～10位・すずむし誌6か月分・あきたこまち5キロ/11位～20位・すずむし誌3か月分・あきたこまち3キロ/21位～50位すずむし誌3か月分【採点】前抜（150句）1点・10秀2点・三才3点【締切】令和3年10月31日（消印有効）【発表】令和3年「川柳すずむし」誌12月号（12月22日ころ）【投句及び問合せ先】〒018-1724 秋田県南秋田郡五城目町東磯ノ目1丁目7-11 湖東印刷所内 すずむし全国誌上大会係宛（電話）018-852-2430 Fax018-855-1055【主催】川柳すずむし吟社

□2022.01.31 2022年青森県川柳年鑑「ねふた」作品募集

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【応募料】3,000円（切手不可）【対象作品】残しておきたい自選10句・作品にタイトル（タイトル無しも可）【応募用紙】所定用紙またはA4用紙に楷書で、住所・氏名（姓と柳号・本名）・電話番号・年齢・性別・柳歴・所属結社（2社まで）【掲載内容】A5版の冊子に、作品・姓と柳号・住所・電話番号・所属結社（住所・電話番号の掲載は任意、その他はデータ資料として活用）その他不浪人賞、年度賞、蝶五郎賞、文芸コンクール、新聞の柳壇、東奥青少年少女文芸大会、各大会の記録・各結社の呈賞・柳壇トピック等【応募期間】2021年10月～2020年1月末日【発表】2022年4～5月予定【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟 年鑑係【問い合わせ】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也（電話）080-5574-9297

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2021.10.13 「川柳吟行会 ぼ」10月句会

【投句締切】10月13日（第2水曜日）【題・投句数】「月」3句【合評会】10月20日（第3水曜日）アウガ5階で14:30～【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

□ 2021.10.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句(12月号分)

【締切】10月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号から好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】12/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2021.11.06 おかじょうき川柳社本社11月句会

【時】11月6日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】11月5日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『辺』/『減る』/『自由詠』選者は当日の参加者より選出【席題】1題3句詠・2人共選【川柳ラブ】互選句「固有名詞を使った句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com（守田啓子） ■投句、句会参加はおかじょうき川柳社会員のみとし、句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

□ 2021.11.10 「川柳吟行会 ぼ」11月句会

【投句締切】11月10日（第2水曜日）【題・投句数】「葉」3句【合評会】11月17日（第3水曜日）アウガ5階で14:30～【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。



川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町2-2-4 新町二丁目ビル6階
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日 / 【賞】秀逸には図書カードを贈呈